

【別紙09】フロアスイッチ

* 同じスイッチを 22 台用意すること。(予備機 1 台含む)

* 同じ SFP を 6 個用意すること。(予備 1 個含む)

(1) フロアスイッチ

- (ア) ボックス型 L2 スイッチであること。
- (イ) 19 インチラックに搭載可能な 1U であること。
- (ウ) 10/100/1000 Base-T ポートを 24 ポート以上有すること。
- (エ) SFP ポートを 4 ポート以上有すること(排他仕様可)。
- (オ) コンソールポートを 1 ポート以上有すること。
- (カ) スイッチング容量は 48Gbps 以上有すること。
- (キ) スループットは 35.7Mpps 以上有すること。
- (ク) IEEE802.1D 機能を有すること。
- (ケ) IEEE802.1p 機能を有すること。
- (コ) IEEE802.1Q 機能を有すること。
- (サ) IEEE802.1s 機能を有すること。
- (シ) IEEE802.1w 機能を有すること。
- (ス) IEEE802.1X 機能を有すること。
- (セ) IEEE802.3ad 機能を有すること。
- (ソ) STP 機能を有すること。
- (タ) ACL に対応していること。
- (チ) ポートミラーリング機能を有すること。
- (ツ) AUTO-MDIX 機能を有すること。
- (テ) telnet コマンドや ssh コマンドで設定する機能を有すること。
- (ト) SNMPv1、v2c、v3 機能を有すること。
- (ナ) Syslog サーバーへのログ送信機能を有すること。
- (ニ) NTP 機能を有すること。
- (ヌ) 電源は AC100V とすること。
- (ネ) フロアスイッチは以下の場所に設置すること。

[設置場所]

- 管理棟事務局 (1 台)、研究棟 1F の EPS (1 台)、研究棟 2F の EPS (1 台)、研究棟 3F の EPS (1 台)、研究棟 4F の EPS (1 台)、研究棟 5F のトイレ前 (1 台)、図書館事務局 (1 台)、講義棟 2F サーバー室 (2 台)、講義棟 3F の EPS (1 台)、第一情報処理教室ラック内 (4 台)、第二情報処理教室ラック内 (4 台)、実習棟 2F の EPS (1 台)、大学院棟 3F の SE 室 (2 台)、予備機 (1 台)
- (ノ) 以下の要件を満たす UPS を 12 台用意し以下の場所に設置の上、フロアスイッチ

を接続すること。

[設置場所]

管理棟事務局 (1 台)、研究棟 1F の EPS (1 台)、研究棟 2F の EPS (1 台)、
研究棟 3F の EPS (1 台)、研究棟 4F の EPS (1 台)、 図書館事務局 (1 台)、
講義棟 3F の EPS (1 台)、第一情報処理教室ラック内 (2 台)、第二情報処理教
室ラック内 (2 台)、実習棟 2F の EPS (1 台)

a) ランインタラクティブ方式または常時商用電源方式であること。

b) 出力コンセントが 6 口以上あること。

(ハ) 講義棟 2F サーバー室 (2 台)、大学院棟 3F の SE 室 (2 台) に設置するフロア
スイッチは各場所のバックボーンスイッチ用 UPS との共有は可能である。

(ヒ) 研究棟 5F のトイレ前、講義棟 2F サーバー室 (2 台)、大学院棟 3F の SE 室に
設置するフロアスイッチは既存ラックに搭載すること。

(フ) 本学担当者との協議の上、設定すること。